

# 鶴見川出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局  
京浜河川事務所  
鶴見・新横浜出張所発行  
(代表) 鶴見出張所  
電話 045-501-3038  
2015年02月12日【第22号】

## 『つるみ川新春富士見ウォーク』2日間で鶴見川全川を歩く



10日の参加者



17日の参加者

平成27年1月10日(土)と17日(土)に鶴見川流域で行われた『つるみ川新春富士見ウォーク』は、両日も天候に恵まれ流域から集まった人達で、大いに賑わいました。

10日に源流から出発し中流域の鴨居まで、17日は、鴨居から鶴見川河口に近い生麦まで延べ約44kmを歩きました。

主要な地点で市民団体、関係自治体、京浜河川事務所から鶴見川の歴史、治水、環境等について説明が行われました。

参加者は、主催者発表で両日合わせて、215名となりました。

## 鳥山川の河床を掘削しています

昨年10月6日台風18号により、鳥山川の鳥山観測所(又口橋下流)で計画高水位(3.36m)を超え3.62mを記録し、非常に危険な状態となりました。

京浜河川事務所では、洪水の流れをスムーズにし、水位を下げるため、鶴見川合流点からJR横浜線橋梁までの区間で、河床に溜まった土砂の掘削工事を急遽行っています。

工事中は、ご迷惑をおかけする場合がありますが、ご協力をお願いいたします。



※この地図は、国土地理院発行の地形図を使用



増水時の鳥山川です。  
(平成26年10月6日10:30頃)

現在、鳥山川の河床掘削を行っています。



# 鶴見川の工事情報(国土交通省契約分)をホームページで公表しています

京浜河川事務所では、鶴見川等で行われている河川工事をホームページで紹介しています。

ここ数年間は、補正予算による堤防を補強するための工事が多くなっているのが特徴です。

(鶴見・新横浜出張所管内)

- ① 耐震堤防工事(堤防下の液状化対策)を3箇所を実施
- ② 護岸改良工事(堤防の川側の矢板前面が深く掘れている所の対策)を4箇所を実施
- ③ その他(鳥山川により多くの洪水を流すための工事)

※出来るだけ、工事の様子を知って頂くために『工事情報』として発信しています。

## 鶴見川 H26鶴見川向井町1丁目護岸改良工事

●工事箇所位置図

●工事内容イメージ

●現在の状況 (平成27年1月撮影)

●工事にご協力をお願いいたします。

工事箇所	鶴見川 左岸 1.6km付近 特殊川(横浜市鶴見区向井町1丁目地先)
工事期間	平成26年6月22日～平成27年6月13日
工事内容	工事目的：河床が沈没している箇所の護岸の安定性を高めるため、矢板護岸の改良工事を行います。 工事概要：矢板護岸工

この工事に関するお問い合わせは

京浜河川事務所 鶴見出張所  
〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央3-1-8-13 Tel.045-501-3035

## 堤防上に対空標示(距離標と河川名)をマーキング



鶴見川左岸  
0.0km 付近



鶴見川堤防上の道路に記載します。

京浜河川事務所では、平常時や洪水・地震時等の災害時においても、河川を上空から見た場合、瞬時に位置を特定することが出来るように、堤防上にマーク(距離標と河川名)を標示します。

鶴見川は、3月中旬に施工する予定です。マーク(対空標示)は、鶴見川の堤防上に1km毎(左右岸交互に行うことを原則)に標示します。(舗装されている所に設置)

標示する大きさは、4m×2.5m程度になる予定です。

施工時は、みなさんにご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。



### 鶴見川流域センターは鶴見川の情報発信しています

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

流域センターには、今月中旬まで1Fから2Fに行く階段に「流域の秋」をテーマとした写真が展示してありましたが、現在「洪水の歴史」をテーマとした写真を展示してあります。

鶴見川は、暴れ川として水害が多かった河川です。是非、来館して鶴見川の事を学びに来て下さい。

【毎週火曜日が休館日です】  
住所 横浜市港北区小机町2081  
電話 045-475-1998  
(鶴見川流域センター直通)

### あとがき

鶴見川に架かっている『潮鶴橋と芦穂橋』(管理者：横浜市)の塗装工事の際に、橋桁に橋梁名を記載して頂く予定です。

また、ここ数ヶ月の間により安全に鶴見川を利用して頂こうと『堤防上に白線を引いたり、車止めの反射テープを補強したりしました。』

さて、河川内の工事は最盛期となっています。工事によっては、工期の延長を行うものもありますので、よろしくお願いたします。



『鶴見川 出張所だより』編集長(上林喜美夫)